

英字新聞の読み方 基礎編 1

Part 1

入門編をお読みくださった方は英文記事の基本的なスタイルに多少慣れていただけたと思います。入門編で挙げた見出しやリードのルールを頭に叩き込んでいただければ、どんな分野のニュース記事も抵抗なく読み進めることが可能です。

基礎編では、英文記事を読みこなすスキルをさらに磨き上げるためのポイントに触れながら、たくさんの記事を読みましょう。入門編で挙げたように、ニュース記事の中で最も重要な情報がもり込まれるのはリード（第1パラグラフ）です。その読み方をもう一度おさらいしながら先へ進みます。リードの要素には5W1Hが盛り込まれます。だれが=Who、なにを=What、いつ=When、どこで=Where、なぜ=Why、どのように=Howの6つの要素があります。

「誰が（何が）どうした」をみつける

通常のリード文は、主語、述語（動詞）、補語と単語が順番に並んでいます。S（主語）=Who+V（述語）=did(do, will do)+O（目的語）=What+・・・の文型で始まる最も一般的な文章です。記事によっては6つの要素すべてを含まないこともあります。肝心の事柄は必ず盛り込まれています。英語の語順は重要な語から順に並べられています。文章で肝心の「誰が（何が）どうした」という部分です。木に例えれば幹の部分です。ですからその幹を見つけて順番に読み進めることです。とくに文中の動詞は重要です。動詞には自動詞と他動詞があり、他動詞にはかならず目的語（～を、～に）がついてきます。次のリード文を読んでWho did (do, will) を見つけてみましょう。訳は、日本語の語順にこだわらずに、多少ぎこちないようですが前から順に処理していくことです。その方が混乱せずに全体を理解できます。

（例文1）

Vice President Xi Jinping of China has been promoted to vice chairman of key Communist Party military committee, the clearest sign yet he is on track to be the country's next leader.

（かんどころ）主語 (who) は、冒頭にある Vice President Xi Jinping of China で、述語 (did) は、主語の後に続く、has been promoted と単純に並んでいます。この部分が最も重要です。そして、(～に) は to 以下カンマまでです。カンマの後は、状況説明を加えている情報の枝葉にあたる部分です。

（語い）Vice President：副主席、Xi Jinping：^{シーチンピン}習近平（人名）、has been promoted：昇格された、key Communist Party military committee：共産党中央軍事委員会、the clearest sign：明確な印、yet to be：やがて～になる

（試訳）中国の習近平国家副主席は昇格された、共産党の中央軍事委員会副主席に、（この人事は）習氏がやがて次の国家主席になることを明示している。